

提携米通信

2020年12月号・黒瀬農舎

今年もお米作りへのご支援ありがとうございました。



今年のブナ植栽は、コロナで交流会などイベントも中止。おまけに当日は大雨注意報発令で、早朝時は強風と寒い雨。でも、天気予報が外れ、植栽時はポカポカ陽気の好天にコロナ早期終息で、次の第29回目は賑やかにやりたいものです。

私たちの田圃を潤す八郎湖の水。その源の一つ、馬場目川源流部の国有林を借りて、ブナを植え始めてから、27年が経ちました。

27年目・第28回のブナ植栽の写真を貼っておきますが、これにたまたま写っているTさん。

昔私ら夫婦が仲人したカップルの主人です。その彼ら夫妻の長男I君は、生まれて数ヶ月目の第一回ブナ植栽から参加。

一昨年までのブナ植栽に26回皆出席のブナ活動と共に成長した27歳の青年。

I君が幼少の頃植えた植栽地のブナは、大きく成長し、植栽地の中からは空が見えないほどのブナ林の風情を醸し、夏に訪れるとセミやウグイスの音が素晴らしいです。

彼は会話の出来ない幼い頃からゲーム一筋。これが高じて工学の名門・東北大学の大学院でIT学を修め、昨春から大手IT系企業で活躍するようになりました。(就職後は不参加)

ブナ植栽活動も30年近くの歴史を経るとI君のような素晴らしい成長や逆に災難など色々なことに接するものです。

その中で、最近の好ましくない出来事と言え、先ず第一がコロナウイルス問題。2番目はアメリカ大統領選挙の醜態でしょうか。

バイデン氏や民主党か共和党支持かの問題ではなく、平気で嘘がつけ、罪悪感を感じることがないサイコパス人格者、まるで昔の高利貸しや悪徳土地ブローカー、詐欺師の物語に出てくるような品性乏しきトランプ氏をアメリカ市民は、一度は大統領に据え、今回も半数近くが支持したという情けない出来事。

かつては市民に、社会正義・道徳や夢・希望の大切さを呼び起こす機会を与えたのが大統領選挙であったように思います。でも、成長が止ったアメリカは「貧すれば鈍」して、在もしない目先の利益だけを探す心貧しい市民が占有する国に凋落したようです。

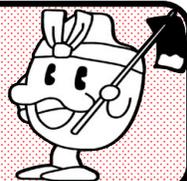
提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

黒瀬 正・友基

TEL:0185-45-3088 FAX:45-2887



★定期購入の場合も、変更や前倒しの出荷、休止はいつでも対応いたします。
★変更や休止は次のお米のお届けの5日ほど前までにご連絡下さい。
★お米のご贈答利用も宜しくお願ひします。

E-mail: akita@kurose.com Web: [提携米 黒瀬農舎](#) [検索](#)

★電話は土日祝日も含めて朝8時～夜8時頃まで対応致します(自宅兼事務所)。但し、電話受付の専任スタッフはいないため田圃や倉庫作業、外出の時は留守番電話対応となります。ご了承願ひします。

また、メールもぜひご利用下さい。なおメールは原則すべて返信していますので、返信メールが届かない際は自動的に迷惑メールとなっている可能性があります。迷惑メールやメールの設定をご確認下さい。

コロナでブナ植栽の前夜祭中止。早く終息し熊汁食べて欲しい!

今年の文化の日のブナ植栽は、コロナウイルス問題によって、遠方の方のご参加はご遠慮願うと共に、お餅、焼肉の昼食会やコーラスなどのイベント部分も中止となりました。



ポチポチ参加者が現れてきました。

その上、当日は早朝から強い風と寒い雨が降り、大雨強風注意報が発令されていました。

私たちは「10名ばかりの役員スタッフ以外は誰も来ないのではないか。」「寒い嵐のような天候なので、今日は作業も無理。日を改めて、スタッフで植栽するか。」などと語りながら会場に向いました。

会場に着いて暫くすると、予想に反し、人がぼちぼち集まってくる。

また、9時の開会時間が近づくと雨が止むだけでなく、薄日も射して来たではありませんか。

早朝が余りにも悪天候だったため、毎年が多い子供たちの参加は、我が家の孫2人以外は流石に皆無でしたが、スタッフ中心の10名程度かもとしていた予想は外れ50名余りの人々が参加してくれました。

開会式を終え、植栽現場の山に上ると、時折射していた陽射しは、だんだん強くなり、天気予報は完全に外れて、無風、快晴の好天になり、作業が進むにつれ一枚、また一枚と上着やセーターを脱がないと汗まみれになる有様で、無事植栽を終えることができました。



開会式の時には、すっかり晴れ、参加者も50名を越えビックリ。

我が家の冷凍ストッカーには熊肉の塊が幾つも入っています。今年のブナ植栽の前夜祭用にと確保していたのです。(これから、別に使います。)

ところで、昔は冬の狩猟期間中、東北の山々に熊狩りに出かける者が、我が村に30~40名余りいました。

でも、熊が獲れるのは希で、村中のハンターが一頭も仕留められないことが数年間続くこともありました。

それが、昨年から急に手に入るようになりました。

でも、村で熊狩りする人は友人一人になりました。その友人が獲れる度に届けてくれるのです。

彼によると、昨年はブナが豊作で、熊は大幅に増えた。

今年は熊は多いが、ブナが不作で、獲った固体が痩せており、肉も脂も極端に少ない。との話。

山の恵みに支えられている熊の生態がよく判る話ですね。

そのあおりで、餌を求めた熊が山から里に降り、県内各地で熊事故が多発しているようです。



熊汁は、上手に作ると美味しいです。熊の年齢を推察して、酒と水の比率を加減するのが第一のポイント。熊汁の具は、大根、葱を使う。ニンジン、玉葱、芋などは禁物。コロナが早く終息し皆さんに振る舞いたい!

お餅・リンゴ・手作り味噌などご注文ありがとうございました。

お餅などは:**お指定のない限り、11月下旬から年末までのお米と一緒に**お届けしております。

リンゴのフジは:**11月下旬~12月上旬**(ご指定頂いている方は、その時期)のお届けとなります。

糴、大豆など手作り味噌関係は:**1月下旬以降**のお届けとなります。

(進物先と自宅のお届け時期を変えるなどのご用命は、何なりと電話やメールでご連絡下さい。)